

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2021年（令和3年）5月26日

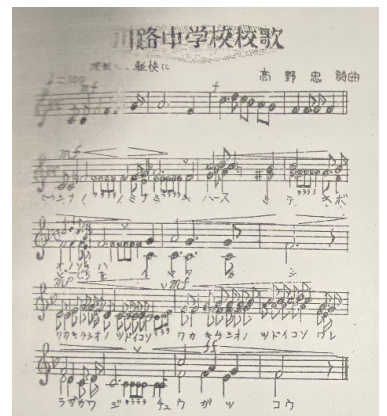
川路中学校校歌が皆様のご協力により判りました。七区の牧内文弘さんより歌詞とピアノ伴奏のCDをご提供頂きました。牧内文弘さんの同級会でCDを作成されたそうです。川路中学の校歌は川路中学の校長先生であった高野忠さんの作詞作曲との事です。川路小学校の校歌は「みなみしなの・・・」で始まり、川路中学は反対に「信濃の南・・・」で始まるとても好対照の素敵な校歌でした。同じく七区の今村幸子さんから貴重な楽譜を提供頂きました。これで36災60年の式典に今は無くなってしまった川路中学の校歌を正確に披露して頂く事が出来ます。ご協力有難うございました。

36災60年式典では、ご案内の様に信州飯田岳風会川路支部と川路まちづくり委員会の協力で「水難の里に生きる」と題した構成吟を行います。その中で川路小学校の校歌を川路小学校6年生にお願いし、川路中学校の校歌をまちづくり会長OBの皆様をお願いする予定です。ご期待下さい。

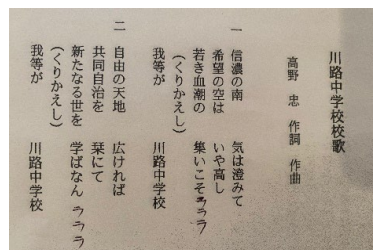
又、まちづくりでは60年を機に「伝えよう水難の里の歴史を」と題し、36災を経験されていない若い皆さんに、川路の苦難の歴史を知って頂き、将来に向けて天竜川との付き合い方を考える機会にしたいと考えております。そこで前日の6月26日に天竜川との闘いの跡を見るウォーキングを計画しております。かわらんべを出発し、36災害最高水位の碑、死人岩、天白岩、時又港、貝暮ヶ淵の碑、洗い越、越流堤等を周り、かわらんべに戻って参ります。途中数か所で闘いの歴史を説明して頂くイベントを計画しておりますが、現在説明して頂ける方を募集中です。古老に聞いたお話、小さい頃の思い出話、なんでも結構です。ご自身での説明でも結構ですし、あの人なら貴重な説明ができるのではないかと他薦でも結構です。是非情報のご提供を宜しくお願い致します。



牧内文弘さんご提供の校歌CD



今村幸子さんご提供の楽譜



## 川路まちづくり委員会令和3-4年基本目標

4月18日に開催されました、川路まちづくり委員会の総会の中で、今村正大会長より、今後2年間の目標と施策の説明がありました。8月各区を訪問し、タウンミーティングで詳しく説明させていただきます。

### 1. 主催・共催・支援等の行事を通じてコミュニティの深化を図ります。

運動会、文化祭、36災60年式典等を通じて、地域の絆を深めます。特に今年は天龍峡をどりを地域の重要な行事ととらえ、まちづくり委員会として積極的に取り組んで参ります。

### 2. 川路居住憲章への理解と啓発を図ります。

川路の住民の皆さんへの啓発活動と新入区民、不在地主、空き家対策に注力して参ります。

### 3. 防災減災への取り組みを強化し、災害時一人の犠牲者もいない地域を目指します。

36災60年にあたり、若い世代に、川路の苦難の歴史を知って頂き、将来に備える対応を試みます。

### 4. 明日の川路の為に、子育て支援の充実を図ります。

未満児保育（川路おむすび保育園）、延長保育、児童クラブの充実を図ります。

### 5. 住民の健康増進と、高齢者福祉の充実を図ります。

### 6. 観光、農業を始めとした産業振興を図ります。

### 7. 訪れる人がさわやかな気持ちになる美しい川路を創ります。

### 8. 川路に帰ろうキャンペーンを継続し、川路に縁のある方々との絆を深めます。

### 9. まちづくり委員会の今をタイムリーにお知らせします。



## 川路市民農園がスタートしました

川路まちづくり委員会管轄の市民農園「かわじ農園」が5月15日多くの皆様のご協力で無事スタートすることができました。5月19日付の南信州新聞に詳しく紹介されましたのでご覧いただいた方も多いと思いますが、遊休農地を使ってほしい高齢者の方と家に畑はないが家庭菜園を楽しみたい地元の若い方を結びつけるまちづくり委員会の試みです。川路まちづくり委員会では、土盛りをして誕生した「天龍峡エコバレー」はしっかり土地利用の計画がありますが、それ以外の土地の土地利用計画がなく、一昨年「川路土地利用計画検討委員会」を立ち上げました。最初は川路を知る為に4回に分けて地元の見学会を実施し、地域の土地利用の実態を確認して頂きました。その中で、耕作放棄地又は近い将来耕作できなくなる土地が多いことが課題として浮上して参りました。緑豊かな川路は地域の財産であり、これを維持して行く為に浮上したアイデアが、「家庭菜園付き中古住宅の活用」であり、この「かわじ農園」でした。「家庭菜園付き中古住宅」はまだまだ案の段階ですが、「かわじ農園」はお陰様で今回実現する事が出来ました。11件の申し込みがあり、5区の28M道路近くの土地をお借りしてスタートしましたが、立派な看板が立っておりますのすぐにお判りいただけると思います。この看板は二区区長の関島さんが、五区の森下さんの協力を頂き作りあげた看板です。「かわじ農園」にふさわしい素朴な立派な看板が出来ました。11人の方は野菜作りは初めての方も多く、五区区長の関島さんが肥料の撒き方や畝作りから指導。二区の関島晃さんから「松本一本ネギ」の苗を提供頂き、小さな子供さんと一緒に野菜作りを楽しんでいました。この「かわじ農園」で野菜作りの楽しさを覚えた方が、他の耕作放棄地等をお借りして、本格的に家庭菜園を始めて頂く日も近いと期待をしております。

## First Mission Box

英語の何の事か判らない言葉ですが、皆さんはこの言葉をご存じでしょうか？地震が発生した場合は、地域の伍組毎に決められ場所に避難して頂きますが、その後各区の公民館に入り災害対策本部を開設する手順を示した重要な箱の事です。各区の役員の皆さん等が各区の公民館に駆け付けた際、慌てて飛び込み、感電したり、壊れたガラス片でけがをしたり、ガス漏れで窒息しない様に、その行動を判り易く記載したマニュアルが入っている箱です。決して一人では行動しない様に、地区の方が3人集まるのを待ってから行動を開始する様に記されてあります。5月11日飯田市危機管理室主催の自主防災リーダー養成研修会が有りましたが、その資料の中で川路地区の取り組みが紹介されておりました。この写真は二区の関島区長が手作りで作った入れ物です。各区も二区の事例を参考に公民館の入口に設置してあります。地震の際は、慌てないで、まずこの箱を開けて、これからすることを確認してから行動を開始しましょう。



かわじ農園参加者の皆さん



五区区長の関島さんから指導を受ける参加者



指導を受けて早々作業に入った皆さん



「かわじ農園」参加者の皆さんの手作り看板



危機管理室作成防災資料に紹介された川路の取組